

令和 7 年度防府市産業戦略本部 第 2 回会合 議事録等

■開催日時・場所

令和 8 年 3 月 1 6 日（月）午前 1 0 時 0 0 分から
防府市文化センター

■次第

- 1 開 会
- 2 議 題

令和 8 年度当初予算（案）の概要について

- 3 その他
- 4 閉 会

■配布資料

	資料名
資料 1	第 6 次防府市総合計画＜抜粋版＞
資料 2	令和 8 年度当初予算（案）の概要
資料 3	令和 8 年度当初予算（案）の概要 関連資料

■出席者名簿

敬称略・順不同

種別		所属団体・役職	名前	出欠
本部長		防府市長	池田 豊	出席
本部委員		アボンコーポレーション株式会社 代表取締役	松村 憲吾	出席
		大村印刷株式会社 取締役本社営業部長	村田 浩司	出席
		協和発酵バイオ株式会社 山口事業所防府 総務課長	山本 武司	出席
		有限会社周防タクシー 代表取締役	新原 耕由	出席
		株式会社杉本利兵衛本店 代表取締役社長	杉本 洋右	出席
		天神町銀座商店街振興組合 理事長	達川 政明	出席
		東海カーボン株式会社 防府工場 総務課長	矢田 和也	出席
		東山口信用金庫 本店長	後藤 福樹	出席
		フラワースペース Co-co 代表	森本 幸代	出席
		株式会社ブリヂストン 防府工場 総務課長	桃井 敏行	出席
		防府商工会議所 会頭	羽嶋 秀一	出席
		防府流通センター協同組合 理事長	喜多村 誠	出席
		マツダ株式会社 防府工場 総務部長	田中 真二	出席
		株式会社丸久 取締役副社長兼経営企画室長	宇佐川 浩之	出席
		光浦醸造工業株式会社 代表取締役	光浦 健太郎	出席
事務局	本部員	産業振興部 部長	杉江 純一	
		土木都市建設部 部長	藤本 英明	
		総合政策部 部長	永松 勉	
		文化スポーツ観光交流部 部長	松村 慎吾	
	庶務	産業振興部 理事	石光 徹	
		産業振興部 部次長	本間 良寛	
		産業振興部 企業応援課 課長	秋里 幸	
		産業振興部 企業応援課 主幹	原田 俊和	
		産業振興部 企業応援課 課長補佐	福知 圭子	
		産業振興部 企業応援課 主任	篠塚 秀平	

1 開 会

市長（本部長）挨拶

2 本部委員紹介

事務局から出席委員の紹介

3 令和8年度当初予算（案）の概要について説明

本部長から資料に沿って、令和8年度当初予算（案）の概要を説明

4 各本部委員による意見

本部長

令和8年度当初予算（案）の概要に対する意見をお伺いする。

A委員

当初予算（案）の概要48ページの「企業の魅力発信事業」についての確認と要望。弊社も新入社員を定期的に採用しているが、ここ数年かなり苦戦している。防府商工の高校生は、ある程度採用できているが、従来から採用していた、高専生が全然採用できず、苦戦している。山口県には、高専が3つある。高校生「等」の中に高専が入っているのかと、高専についても、企業説明会等で企業の魅力を発信できる機会を設けていただきたい。

本部長

山口県には、周防大島と徳山と宇部と3つの高専があり、全国でも多い方と思う。また山口県は、高校生で工業を学ぶ生徒の割合が、日本でトップクラスに高いと出ている。高専生は即戦力になる。いただいたご意見を含めて考えていきたい。また、「大学リーグやまぐち」、県の方でも、高専も入っていると思うので、一緒になって魅力を発信し、個別にもあたっていきたいと思う。

B委員

毎回改めて思うが、非常にきめ細かく抜けない計画である。また西浦交差点の改良も、引き続き県と協力しながら進めるとのことで、非常に、感謝する。

当初予算（案）の概要33ページにカーボンニュートラルについて触れてある。自動車業界では、電気自動車の普及がインフラ含めてまだまだ進まない。そうすると、従来のエンジンを使用しての、生産運用になる。また、自動車業界では、完成車の海外輸出では船を使用しての運搬を行う。そして、自動車業界は非常に裾野が広く、何千何万点という部品を、サプライヤー、そして物流業界にサポートいただきながら、協力いただいて生産しているということで、弊社のカーボンニュートラルに向けての活動も、非常に責任あるというふうに感じている。概要に再エネ省エネが書かれており、太陽光発電やLED照明の設置といったものもあるが、もう1つ我々はカーボンニュートラル燃

料を掲げ、2035 年 2050 年に向けての取り組みを検討している。当初予算（案）の概要 33 ページを見ると、企業向けの支援策は、まだまだこれからというふうに感じている。自社は、カーボンニュートラル燃料の小規模の実証検討が進んでいる。例えば、完成車を西浦工場で生産し、これをトレーラー輸送で中関に輸送している。1 日 1000 台ぐらい生産することから、トレーラーのピストンで言うと、何十台何十往復とする。この燃料に微細藻類のバイオ燃料と、例えば軽油を混合した燃料を使って検証するような取り組みの検討が進んでいる。

次の第 7 次総合計画に繋がる話かと思うが、ぜひ企業向けのカーボンニュートラルに向けた、支援等も入れ込んでいただければと思う。

また、ご案内になるが、昨年末、東京であったジャパンモビリティショーで世界初公開した 2 台のビジョンモデルがある。これは、先ほどのカーボンニュートラル燃料の使用と、走れば走るほど大気中の CO₂ を削減できるというもの。ニュートラルだけではなく、さらに走れば走るほど CO₂ を削減するというコンセプト。車を走らせると、CO₂ 含めて排気ガスが出るが、排気管の途中にカーボンキャプチャーという、二酸化炭素吸収する装置をつけ回収する。「カーボンネガティブ」という表現をしているが、そのような取り組みも行っている。

本部長

カーボンニュートラル燃料の話をしていただいたが、カーボンニュートラルといったものに取り組んでいきたいと思う。コンセプトカーを見させていただいた。素晴らしい車だった。いろいろな取り組みがあつたら、市の職員に伝える。市のレベルだと、ついていけないところもあるかもしれないが、どんなことをされているかを勉強させていただき、どういうことができるかを検討させていただきたい。

C 委員

当初予算（案）の概要 16 ページ以降に展開されている「未来を拓くこどもの育成」について。今の少子化にあって、子育て世代の支援では、特に子どもたちが楽しく過ごせるまちというのは非常によいのではないかと考えている。色々な施策が考えられている中で、地産地消にも繋がる、旬の防府産の食材を届ける施策は非常によいと思う。その届け方として、例えば、色々な地域クーポン券も活用されているので、そのような形で、お配りして、地元の商業者で使ってもらい、防府の商業全体を活性化していく手法も考えていただきたい。また、例えば、市指定の所で受け取る、最近若い世代は、特に魚等の調理方法が分からないということもあるため併せて美味しい食べ方等の情報も一緒に届ける、といった色々な工夫をするとよい。せっかく配付をするのであれば様々な活性化できるような取り組みを一緒に考えたいと思う。

本部長

この制度はコロナのときに消費が落ち込み、なかなか買い物に行くことができないだろうということで始めた制度。評判が良いのでずっとやっている。もう 5 年も経つ

ので、常に改善を重ねていきたい。調理やレシピを通じて、こどもたちにも魚だとかしっかり調理できるようにしていかないといけないと思う。常に改善を重ねていきたいと思う。

また、今の青果市場で週1回ほど朝一をやっているが、将来の移転を踏まえ、今度潮彩市場でも野菜の朝市をして、移転したときに、うまく活性化するようにしたいと思う。

D委員

当初予算（案）の概要32ページの「タクシー配車アプリ導入支援」や「バス・タクシー運転士不足対策事業」といった公共交通業界に対して、配慮いただき感謝する。今からガソリンの価格が高騰するということで、戦々恐々としているが、防府市内においてなくてはならない交通インフラとして、タクシー業界の責任をしっかりと果たして参りたい。特に「バス・タクシー運転士不足対策事業」に関して、今年度支援を受けた、自社の運転手が大変喜んでいて。併せて、自社では就業定着についてもしっかりと努めたいと考えている。

最後に提案として、当初予算（案）の概要23ページ「地域クラブの推進」について。来年度からの中学生の部活動の地域クラブ化について、準備が進められていると思う。そのような中で、タクシー業界が協力できることは、こどもたちの送迎に関することだと思っている。実際に民間の方から、タクシーやマイクロバス、ジャンボタクシーの利用ができないかという問い合わせが何件か来ており、実際に行ってみないと分からないが、送迎に関して色々な課題が出てくると思う。その場合に、送迎の関係でこどもたちの貴重な学びの場が失われても、防府の未来に関わることだと思っているので、その場合はぜひ、協力させていただきたいと思っている。市内タクシー会社のタクシー協会もあるため、そちらにも働きかけをして、協力できることがあれば、協力したいと思っているので、ご相談いただきたい。

本部長

マイクロバスを3台購入して、実際、運転士不足というのは、市も一緒の状況。今その確保をどうするかという課題がある。提案をいただいたが、スタートしていない状況なので、どのぐらいになるのかはまだ読めないところ。机上では考えているが、実際はこどもたちの意向も全然違うだろうし、本当は使わないかもしれないし、もっとニーズがあるかもしれない。スタートしてからになるが、今の貴重なご提案をいただいたので、また検討させていただきたい。お願いするかもしれませんが、そのときは、よろしく願いたい。

E委員

印刷業界では、昨今、紙やインク等の原材料が高騰している。イランの戦争の関係で原材料が、更に高騰すると思われる。輸送コストも大きく上がっており、更に、社員の給与を上げていかないといけないという状況もあり、人材確保にもかなり苦戦してい

る。今、正直、中小企業の経営環境というのは、かなり厳しい状況にあると思っている。その中で、防府市において、当初予算（案）の概要 46 ページから、「時代の波を乗り越える中小企業の振興」ということで、色々な施策を盛り込み、さらに説明があった「物価高騰等対応予備費」があるということで、感謝する。中小企業の様々な意見があると思うため、意見を取り入れてもらい、ぜひ有効な手当をしてもらいたいと思う。

本部長

予備費 1 億円計上して使うことがないかなと思ったら、こういうことになり、計上してよかったなと思っている。暫定税率がなくなるから、A 重油の方は関係なく高いままだからということで、制度を作った。それで何年か前を基準にしているので、A 重油がずうっと上がったら、市の補助が増える形になった。何年前か当時の価格保障をする制度を作っているの、A 重油の方は、市の補填が増えるだけになる制度になっている。そのきっかけは、ガソリンが下がるのに A 重油は下がらないからだったが、そのガソリンがまた上がるという状況になっている。これは動向を見ながら、国の制度も見ながら、どうしたらいいかということを検討させていただきたいと思う。まず、国がどのような制度になるか分からないので、そちらがまずできて、県の制度ができてからになるが、市としてしっかりできることは、振興の中で、会議所等の様々な意見も伺いながらしていきたいと思う。

F 委員

当初予算（案）の概要 47 ページについて、特に中小企業では、物価高騰等と人材不足というところで、若干は売り上げが上がっているが、利益幅が縮小している。また、現在、金利については、上昇傾向にある。その中において、新年度の中小企業振興資金制度で、金利をかなり抑えてもらい、金融機関側として感謝する。

中東の情勢が流動的な状況であり、これが長引くのかどうかということで、またさらに踏み込んだ対策も必要になると思う。以前、相談窓口等の開設等もあったが、この辺も対策を練っていかないとと思う。

「物価高騰等対応予備費」も、本当に早い段階で 1 億円が計上されているので、この使い道も、色々と考えていかななくてはいけない。現在、燃料等の高騰による、市中の中小企業、零細企業等の資金繰り等を注視しているところであり、早い段階で相談してもらい、早い対策と、対応も必要になるため、金融機関と市と商工会議所の協力の元、この困難を乗り越えていきたいと考えている。

本部長

今回、融資制度で、かなり低金利なものを作った。その効果を発揮するためには、ベースの部分がしっかりしないといけない。これだけやっても、他の方がもっとそれ以上に悪くなったら、施策効果がない。

防府市の売りはスピード感。とにかくいち早くする。いち早く防府市がすれば、他のところもやるのではないかと思う。県全体広がればいいなと思っている。一番に、最初

にやっていきたいと考えている。

金利が上昇する中である。この金利の動向が不透明になってきた中で、いろいろと厳しくなる中小企業も多いのではないと思う。融資制度について、いろいろな考え方があり、もっと効果ある方法をといろいろ頭の中では常に考えているが、やむとすると、補助金ではないかなということになる。やはり、この融資というものは大切なものなので、これをしっかり使っていただいたらいいのではないかなと思う。

地域金融機関で現場の声が一番届いていると思うので、またお聞かせいただいたら、市としてできることを素早く実施する。厳しくなる前に手を打っていきたい。とにかく中小企業に安心感を持っていただくということが一番大きいので、使う・使わないではなく、困ったときは使えるという安心感があることが、中小企業が頑張っていく源なのではないかなと思う。しっかり頑張っていきたいと思う。

G 委員

先日、山口県のアンテナショップでフェアを3月初旬から中旬にかけて弊社の営業担当も行かせていただいた。感謝している。

前回の話でもあったが、まちづくりは一朝一夕にいかない。ここ数年で市役所、駅などのハード部分は変わってきていることを実感している。ソフト部分においても数年後を見据えて、それぞれのポジションで取り組んでいかないといけない。

市長がいつも「すごいぞ防府」で広告塔としてPRしていただいている。われわれ商売人も頑張っていく必要があると思う。

「縁結び山口」で弊社のことを取り上げていただいて感謝している。NHKのBSでも右田ヶ岳が紹介される。こういったところから防府の魅力が発信されると思う。

工業系のまちのイメージはあるものの、われわれ商業系の会社もしっかりとまちづくりに貢献し、こどもたちが誇りをもって育っていけるようなまちづくりが大事だと思う。微力ながら頑張っていきたい。

本部長

「防府の地産地消は何ですか」という質問があったときに、「観光」と答えた。防府は地産地消、地元にある。例えばゴルフ場とか、そういうものは後でつくることができるが、防府の歴史はつくれないと申し上げた。それが防府の誇りだと、心の底から思っている。

実は「すごいぞ防府」というキャッチコピー作るときに、当時のコンベンション協会の会長さんと話して、実は私は「すごいな防府」がいいのではないかと、来た人が「すごいな防府」と言ってもらえるようにと言ったところ、来た人ではなくてまだ来てないので「すごいぞ防府」と言わないとだめだということを当時の会頭から言われたこともあり、「すごいぞ防府」にしたというエピソードがある。数字を使っているいろいろとPRし、変えずに、ずっとやってきており、少しずつ広まってきたかなと思っている。

市民の皆さまが、自分の町に誇りを持って、PRし、お互い褒め合い、みんなが明るいまちになればいいな・みんながPRするのがいいなというふうに、今思っている。

これからまたしっかり頑張っていきたい。

H委員

三田尻中関の3号岸壁の延伸について。国道2号の4車線化により物流の効率化が図られて、この三田尻中関港のポテンシャルも、さらに高まると期待をしている。しかし、現在、コンテナ船の大型化への対応が喫緊の課題であると認識している。また、大規模災害時でも、三田尻中関港は物流の維持や緊急物資の輸送拠点、さらには防災拠点として重要な役割を果たす、担う港と認識をしている。また、18日に国交省、山口県、防府市、三田尻中関港の利用企業で、三田尻中関港意見交換会を開催する。3号岸壁の延伸に向けて、早期実現に向けての要望を引き続き、行っていただくとともに、利用促進に向けたポートセールスも官民で実施したいと思っているため、今後ともご支援、ご協力をお願いしたい。

青果市場の移転に関して。現青果市場について、早い段階から活用の計画をするとよいと思う。スピード感のある防府ということで、移転が決まっているのであれば、移転する前から、その後の活用について計画等準備していただくとよいと思うので願います。

ガソリンが非常に高くなっている。アンケートでは回答までに時間を要するため、商工会議所では、業種別ごとに構成する部会を緊急開催し、ガソリンの高騰についてのヒアリングを今月中に行う予定としている。対策や要望について、また市とともに、情報を共有していきたいと考えているので、よろしくお願いします。

本部長

港湾について、明後日3月18日に、この会場で、国交省や県も来て会議をする。市長就任以来、当時の商工会議所会頭からも、港湾のことをずっと言われてきた。実は要望書というのはなかなか表立ってするものではないが、もう整備局に何十回以上も行っていると思う。商工会議所会頭も一緒に港湾局長と会った。港湾局長が知っているということは、何らかの報告が上がっていて、さらに上に報告がされているのではないかなと思う。商工会議所前会頭にも大変お世話になっている。この今日お集まり皆さんをはじめ、企業のお力を借りながら、3号岸壁が1日も早く延伸できるようにしていきたいと思う。

青果市場について、売却を含めて、今検討している。場所的にも、今度国道2号の拡幅が進めば、素晴らしい一等地になる。そこをどのようにしたらいいかを検討して、また意見を伺いながら、早期に取り組んでいきたい。よく売却が決まった後・移転した後に、どうやって使うかという検討会を開くことがあるが、もうその前の段階からやっていきたいと思う。現在、市のものであり、現存する建物をどうするかということなどいろいろあることがある。手続き的にどうしたらいいか、またいろいろ規制もあるので、一番有効的なものになるような方向で、取り組んでいきたいと思う。もし売却することになれば、その財源を活用できるところがある。スピード感を持ってやっていきたいと思う。

ガソリンについては、商工会議所と、また地域金融機関と一緒にあって、取り組んでいけないといけないと思う。市も、これを想定したわけではないが、新年度は市内の企業を重点的に回ることになっている。今回どういう影響があるかをしっかり聞きながら、また商工会議所とともに相談窓口を開設することで、市内の中小業者の皆さんが不安を持たないようにしていきたいと思う。

I 委員

地域活性化というか産業の活性化には、産業インフラの道路、橋、港湾などが極めて重要である。三田尻中関港の港湾整備は一朝一夕にいかないが、完成後は優位性をもたらしてくると思う。港湾整備局の方などといろいろ会合する中で、やっぱり地元からの是非やりたいという意欲が必要になる。しっかりと官民挙げて実現していかなければならないと思っている。

現青果市場について、何が防府にとってよいか様々な意見が出てきてもよいと思う。我々物流の拠点でもよいし、マツダさんの工場でもよいし。港湾、国道に近いという地の利を生かしたものになると思うが、物流に限らず様々な意見を聞きながら推進してほしいので注視していく。

本部長

現青果市場について、様々な使い方を検討していきたい。港湾については、しっかりと取り組んでいきたい。青果市場を作ったときは、農林水産部の職員で携わり、今度変えるときも自分が携わるのではないかというように思っている。作ったときの経緯を知っており、当時はあのぐらいの規模を使うことを想定していた。現青果市場については有効活用していきたいと思う。

J 委員

3月は花の売り上げが高い時期。今年も売り上げはよい。石油の問題とか小さい花屋には難しい話ではある。コロナ期から始まったプレミアム付商品券について、当初は専用券が少なく関係ない話だったが、専用券の割合が変わりお客様が増えありがたい。中小企業にとっては期限付きのお金で経済を回していただいてありがたい。

レザーファンについて、花はどこで作られてもお客様にはあまり関係のない話だが、移動距離は花に負担がかかってくる。市内、県外、海外の花では、持ちと新鮮度が違ってくる。気温とか気候に合わせるためには地産地消を大切にしていきたい。

本部長

花の地産地消とあったが、やっぱり地元の花が一番いいのではないかなと思う。この間、レザーファンの話を伺ったので、早速その専門家と話をした。日本で3番目というのをPRしようということと、なかなか目立たないものだが必ずいるものなので、需要は一定数あるのではないかという話になった。

プレミアム商品券の話について、今回8回目をやるが、全国的にも8回やるところ

は なかなか少ないのではないかと思います。お米券について、昨日、農家の方から、なぜ配るかという質問を受けた。1 つは景気浮揚対策があると思っている。クーポン券等にすることで、その期限内に使ってもらえることにつながり、景気を刺激する。いろいろなものを作る方々に、裾野に、また広がる。お米については、今お米離れが進んでしまうと、今後、農家が頑張っても、米が売れなくなる恐れがある。だから、米の需要を確保しなければいけないから、農家対策として配っている。これらのことを、昨日農家の方に説明したら納得してもらえた。景気浮揚という観点でも、取り組んでいきたいと思っている。

プレミアム商品については、強い要望がある。こういうことをやることによって、みんなが注目するということで、景気浮揚に繋がるっていうことでさせていただいている。

K 委員

ブルーカーボンの活用について、順調に海藻や貝類が増えている。海藻が増えればアイゴが増えても食害は気にならない。アイゴは南方系の魚で、水温が上がればどんどん南方へ移動していく。アイゴを採って食べるのもよいが、本来の目的は藻場づくりで、カーボンクレジットしながら、民間の方になると思うが、食べられる海藻として活用していきたい。塩漬けにするなど県内企業と連携し、山口県内で採れた食べられるワカメを目指しながら、藻場づくりのブルーカーボンに取り組んでいきたい。

本部長

ワカメの話が出たが、防府産のわかめで、なにか製品ができれば、またそれを持っていくことができるので大変いいことだと思う。アイゴだと、持っていくのには腐る可能性があるので、ワカメだったら大丈夫と思うので、ぜひ開発していただきたい。

L 委員

当初予算（案）の概要 36 ページに「活力のある中心市街地の形成」とあり防犯カメラの設置とある。大道駅の近くには、防犯カメラがほぼない。会社で設置している防犯カメラのデータ確認を警察から求められることがある。各家庭で設置されているところはあると思うので、新しく道路を設置するときの主要な交差点などに 1 か所でも設置されていれば防犯面で安心感につながると思う。

自社で A I をすごく活用しているが、防府市では A I の活用をどのように考えているか。

本部長

最初の防犯カメラについては、大変必要なことだと思う。特に、大道には大道駅があり、高校生等の利用もあるため。

それから A I については、いろいろな面があると思う。

行政というのは、やはり「市民の皆さんと触れ合って」を一番にしていかなければい

けない。A I を幾ら使っても、心が通じ合わないと駄目だと思う。市の職員には人と多く会うように言っている。私自身も街中よく歩いているが、ベースと一緒にして話をすることが大事。この会議も同様に、今回 8 年目にもなると、皆さんが言われることが当時よりも、スムーズに、自分自身に納得できることが増えてきている。やはり日頃から多くの方に会わないと、直接会わないとだめだなということをつくづく感じている。

A I は、職員がいろいろな効率化でしっかり使わないといけない。一方で、職員には、私が県庁時代から使っている「心で仕事が地方公務員」という言葉を伝え、頭ではなく心で仕事をするのが地方公務員だということを申し上げている。そういう気持ちでしっかりやってほしい。

また A I の導入をする企業について、しっかり支援していきたいと思う。

M委員

国道 2 号拡幅や西浦交差点改良に取り組んでいただきありがたい。従業員の大半は防府市民だが、一部山口市から通っているので恩恵を受けると思う。また、我々の会社で製造している製品のほとんどがトラック輸送になっており、浜方の工場を出て、西浦交差点を通過して国道 2 号線に出て、高速道路に乗って輸送する。そのルートをしっかり確保していただくことは商売面でもプラスになるので是非進めていただきたい。

潮彩エリアの活性化について、青果市場が移転し、より賑わうと思うが、あそこで子どもを遊ばせるのが少し危ないという話を従業員から聞いている。トイレに行くときに道路の横断や、道の駅に行くときの駐車場内の通行など。子育て世代のわがままかもしれないが、移転に合わせ、人の動線も踏まえたレイアウトにするとより賑わいが出るのではないかと思う。

本部長

最初の西浦の交差点とあったが、交差点ができないと、大道鑄銭司拡幅が活かない。企業が山口南インターを使うと思うので、そこをいかに早くするかが一番だと思っている。現状 2 ヶ所、混んでいる。各々何分ずつか込んでいる。1 ヶ所が解消されたら、西浦交差点が 1 回で受けることになり、今より大変なことになると思う。昨年、知事にも、西浦交差点の方が先にできないと意味がないという話をしっかりさせていただいた。

潮彩エリアは大変うれしい悲鳴。令和 8 年度に隣接する県の緑地も完成するので、これまで以上に子どもたちが来るようになるのではないかと思う。一方で、横断歩道を作るというのが道交法上の問題で交差点等があつて難しいということなので、どのようにしていくかということは検討課題。潮彩への人の流れを考慮する必要もあり、公園だけで完結すると潮彩に人が行かなくなるという話もあるが、子どもたちの安全安心が第 1 になる。子どもたちが多く来るのでしっかり検討していきたいと思う。

N委員

エコピアの森は毎年行っており、森林整備活動として、間伐体験や下草処理などを行

っている。防府工場が今年 50 周年になるので、森林整備活動だけでなく、バーベキューや木工体験なども市と協力しながら取り組みを進めていきたい。

中学生を対象とした山口みらいフェスタにも積極的に参加させていただいて地元企業としての魅力を伝えたい。

また、小学校、幼稚園から工場見学に来てもらっている。そういった皆さんにメーカーの魅力を伝え、ファンになっていただき、高校、大学の後の就職の際には、防府市の企業に勤めていただけるよう、一生懸命PRしていきたい。

本部長

森林について力を入れていただき感謝している。大平山でも、2050 年の森をやっていき、盛り上げていきたいと思う。またアイゴについてもお世話になった。これからも引き続きよろしくお願ひしたい。

本部長

皆さんから十分な意見を伺った。総合計画に沿って、これからしっかりとまちづくりを進めていきたいと思う。

ガソリンがどうなるかが一番不安材料ではあるが、商工会議所や地域金融機関等から意見を聞きながら、しっかりと対応していきたいと思う。4 月から、市も新しい体制で、企業をしっかりと回ることになる。訪問等させていただいた際は、様々な意見を言っ
ていただき、可能な限り対応できるよう対応させていただきたいと思う。

年度が変われば予備費が使えるようになる。スピード感を持ってどういう対策がい
いかということを、何よりも、中小企業が不安を持たないように、安心感を持って仕事
ができるようにしていきたいと思う。

今年由市制 90 周年となる。あなたで 1 万人というキャッチフレーズで、裸坊をやる。
防府出身者が心ひとつに盛り上がれば、防府のまちが元気になるということ。よろしく
お願ひいたしたい。

閉会